

区分	評価指標	平成22年度	平成23年度	対前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス(地区図書室分を含む)				自己評価		外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	20,074	19,400	3.4%減	巻図書館の開館によって、西蒲区の図書館全体の数値は増加した。特に新規登録者は、著しく増加した。しかし、貸出冊数については増加したものの、西川・岩室・潟東図書館で減少した。貸出冊数は、西蒲区図書館全体で対前年度比18%の増加にとどまっている。	1 大変評価する。0% 2 ある程度評価する。100% 3 評価できない。0%	・資料購入費が減っているにもかかわらず、ほかの数値が上がっていることは評価に値する。 ・巻図書館の蔵書数が少ない。予算の関係もあるが充実を望む。 ・貸出冊数が増えたことは評価できる。 ・新規登録者数は、少ない様に感じる。図書館利用者を増やすために宣伝を積極的にしてほしい。
	蔵書冊数(点)	202,720	270,891	33.6%増			
	貸出冊数(点)	309,188	365,226	18.1%増			
	登録者数(人)	11,301	11,947	5.7%増			
(内新規登録者数)	1,358	1,925	41.8%増				
区分	評価指標	平成22年度	目標値(H23)	理由	平成23年度	評点	評価(次年度への展開)
施策・事業(オンライン各館)	課題解決型図書館				自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	レファレンス件数(件)	715			927	3	数値の上では達成。 1 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。62% 3 評価できない。13% ・課題解決型図書館として多く利用されているか疑問。 ・予約やレファレンスを知らない人に宣伝が必要。 ・ビジネス支援サービスは、まだ活動していないようだが。
	個人予約件数(件)	28,730			36,130	4	
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	—	—		—		
	ホームページアクセス件数(件)	—	—		—		
	分権型図書館				自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	7,960			11,050	4	巻図書館開館によって、数値は増加した。郷土・行政資料の貸出冊数は、やや増加したとはいえ数値が低い。資料の充実が必要。 1 大変評価する。0% 2 ある程度評価する。100% 3 評価できない。0% ・巻図書館の原発コーナーのより一層の充実を望む。 ・貸出できる資料を増やしてほしい。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	2,972			3,289	3	
	学・社・民融合型図書館				自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	児童書の貸出冊数(冊)	87,271			102,685	3	児童関係の事業を多く実施した。市立図書館随一の学校への講師派遣職員数も昨年に引き続き、高い数値を維持している。 1 大変評価する。38% 2 ある程度評価する。62% 3 評価できない。0% ・児童書が10万冊を超えて借りられたのは素晴らしい。 ・今後もアイデアのある計画で継続を望む。 ・支援センターの職員は専従で業務をしてほしい。
	小中学生への貸出冊数(冊)	31,784			36,217	3	
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	1,766			22,808	4	
	職場体験受入人数(人)	36			30	2	
	講師等としての派遣職員数(人)	132			122	2	
	パートナーシップ型図書館				自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
	図書館事業のボランティア活動者数(人)	1,008	1,075		1,098	3	ボランティアの活動者数は、市立図書館随一の数値を示している。 1 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 3 評価できない。0% ・今後の図書館発展につながる。成功例を学びたい。 ・どう協働していくか大きな課題である。 ・利用者懇談会の内容の充実を望む。
	ボランティア団体交流会参加者数(人)	4			10	4	
	利用者懇談会の開催回数(回)	1			2	4	
	共催事業の実施回数(回)	15			27	4	
	運営(職員)				自己評価		外部評価(%は外部評価者の割合)
研修参加職員数(人)	100	107		208	4	全図書館の延べ人数は、606人。中央図書館及び地区館で347人。西蒲区は208人(職員・嘱託計21人)なので、それに次ぐ回数となった。 1 大変評価する。50% 2 ある程度評価する。50% 3 評価できない。0% ・多岐にわたる研修に参加し、意欲的に取り組まれている。研修を受け、具体的にどのような成果・改善がなされているか知りたい。 ・忙しい中でよく研修に参加している。図書館の要は「人」なので、引き続き職員を育て、学び、忙しい中でもたくさんの研修を積んでもらいたい。利用者やボランティアとの協働を学んでほしい。	

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成
 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針, 新・総合計画:市の目指す都市像に向けた行政計画, 組織目標:市が実施している組織ごとの行政評価